台付管

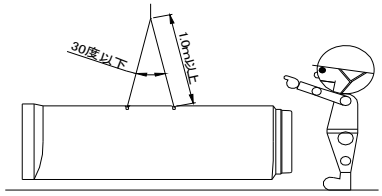
施工要領書

イトーヨーギョー

ＢＺ台付管施工要領

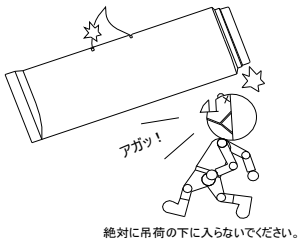
20110930

安全かつ確実に施工していただくため、下記事項をお守りくださいますようお願いいたします。



注意

・絶対に吊荷の下に入らないでください。
・管の取り扱いは丁寧に。



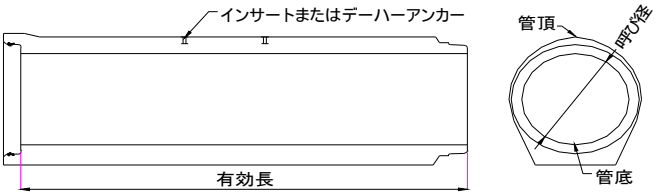
絶対に吊荷の下に入らないでください。

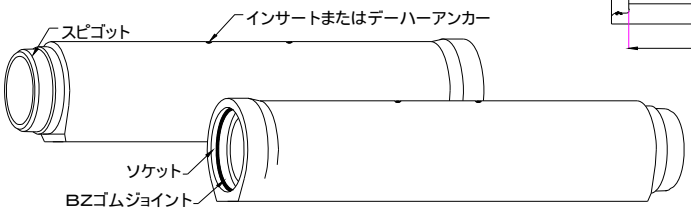
注意

・弊社指定の吊具を使用してください。
・インサートは吊り上げ以外の用途に使用しないでください。
・吊り上げ角度は30°以下としてください。

○ 各部の名称

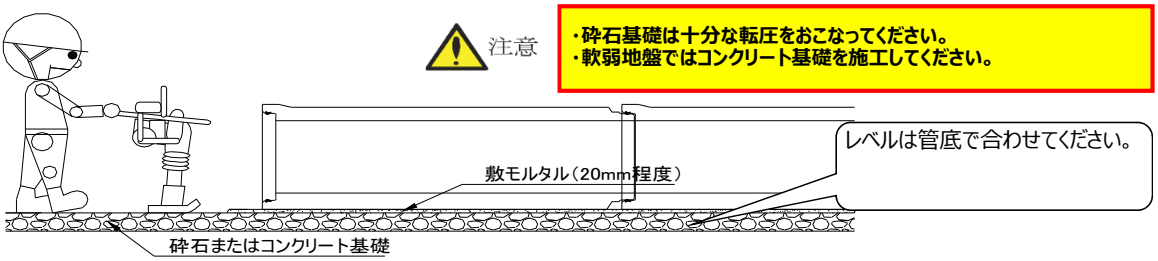
ＢＺ台付管の呼び径は、250、300、350、400、
450、500、600、700、800、900、1000　です。





BZゴムジョイント

○ 基　礎



〔砕石基礎の場合〕

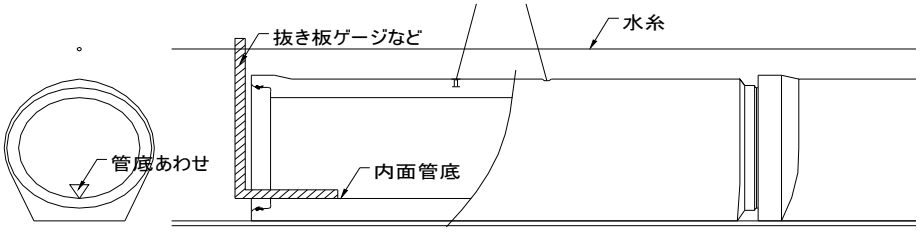
① 沈下の原因にもなりますので、埋め戻しには十分な転圧を行って下さい。
② 接合部に、ベース板（コンクリート製）を用いると施工が早く、容易になります。

〔コンクリート基礎の場合〕

① 敷モルタルは20～30mm程度が良いです。厚すぎると高さが決めにくくなります。
② キャンバーかライナープレートでの高さ決めの場合、底面に隙間ができないように
管体側部からモルタルを充填して下さい。

○ 芯出し及び高さ決め

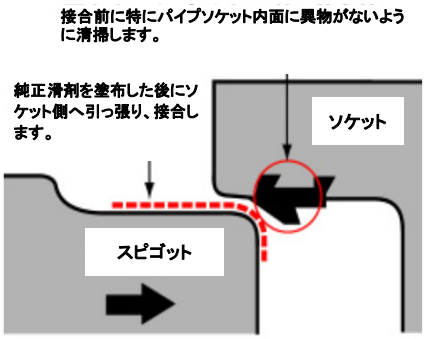
芯出し及び高さ決めについ
ては内面を基準にしてください。



○ ＢＺ台付管用滑剤の塗り方

① 接合部分の汚れは、あらかじめ、きれいに拭き取って下さい。

② 接合をなめらかにする為、下表の滑剤使用量の目安に従い、差し口（スピゴット）の先端に滑剤を塗って下さい。



滑剤の使用目安（純正滑剤、3kg入り）

呼び径	本数	呼び径	本数
250	68	600	24
300	57	700	21
350	50	800	18
400	41	900	15
450	36	1000	12
500	33		

注意

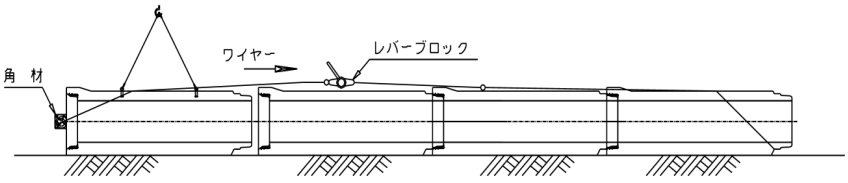
・必ず滑剤を使用してください。
ジョイント破損の原因になります。

○ 接合方法

引き込む管は、吊りおろしワイヤーをきかせた状態で、下図の様に受口の管軸に角材で養生しワイヤーをかけて下さい。

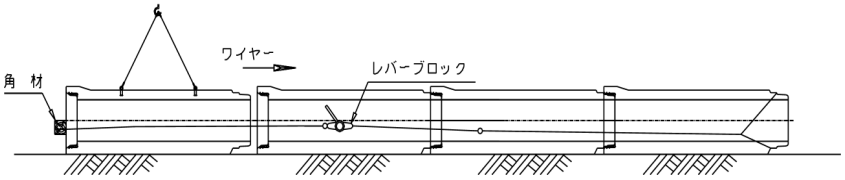
φ250～φ500の場合

下図の様に上部１点絞りで引き込みます。



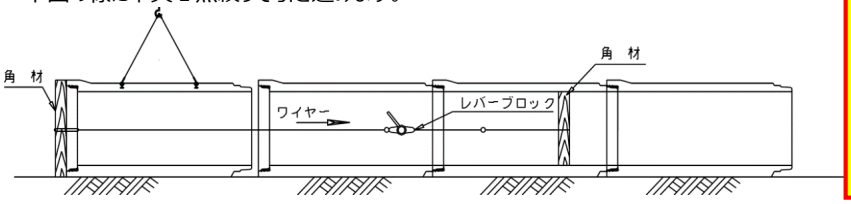
φ600～φ700の場合

下図の様に側部2点絞りで引き込みます。



φ800～φ1000の場合

下図の様に中央１点絞りで引き込みます。



吊具および接合器具

呼び径	吊具	接合器具 レバーブロック（ワイヤーロープ）
250	BZ吊り金具	1.5ton以上（9mm以上）
300		
350		
400		
450		
500		2.0ton以上（9mm以上）
600		
700	ﾃﾞｰﾊﾙ吊り金具 2ｔ用	4.0ton以上（16mm以上）
800		
900		6.0ton以上（16mm以上）
1000	ﾃﾞｰﾊﾙ吊り金具 4t用	

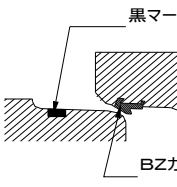
注意

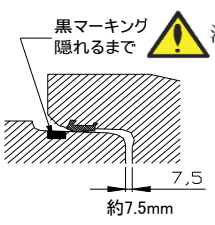
・接合時のはさまれにご注意ください。

・吊具、レバーブロックは表記のものをご使用ください。
接合不足となり漏水の原因となります。

○ 差込位置

スピゴットに記された黒マーキングが隠れるまで差し込んでください。





注意

・接合後の外力による偏芯にご注意ください。漏水の原因になります。

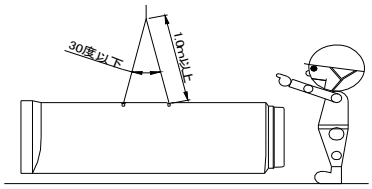
・台付管は外圧管です。サイフォンなど内圧が作用する管路には使用しないでください。

・スピゴットに記された黒マーキングが隠れるまで差し込んでください。耐震性能低下の原因になります。

20110930

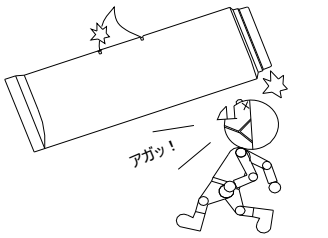
ＶＰ台付管（Ｇリングタイプ）施工要領

安全かつ確実に施工していただくため、下記事項をお守りくださいますようお願いいたします。



注意

・絶対に吊荷の下に入らないでください。
・管の取り扱いは丁寧に。



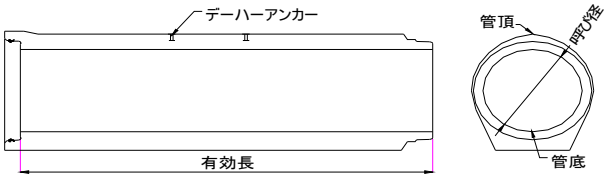
絶対に吊荷の下に入らないでください。

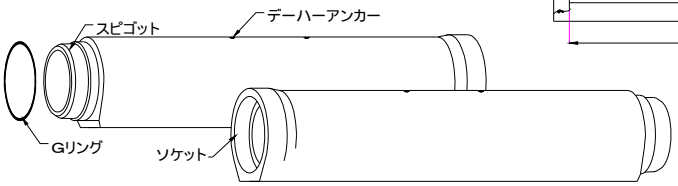
注意

・弊社指定の吊具を使用してください。
・アンカーは吊り上げ以外の用途に使用しないでください。
・吊り上げ角度は30°以下としてください。

○ 各部の名称

VP台付管の呼び径は、150、200、1100、1200です。
（ゴムジョイントはGリングタイプです）



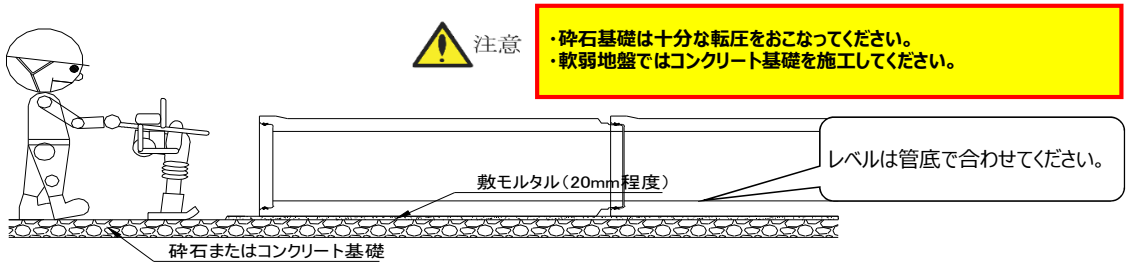


（雨滴断面ゴムジョイント）

○ 基 礎

注意

・砕石基礎は十分な転圧をおこなってください。
・軟弱地盤ではコンクリート基礎を施工してください。



〔砕石基礎の場合〕

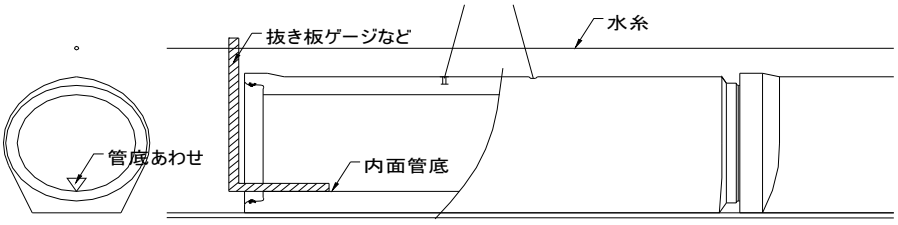
① 沈下の原因にもなりますので、埋め戻しには十分な転圧を行って下さい。
② 接合部に、ベース板（コンクリート製）を用いると施工が早く、容易になります。

〔コンクリート基礎の場合〕

① 敷モルタルは20～30mm程度が良いです。厚すぎると高さが決めにくくなります。
② キャンバーかライナープレートでの高さ決めの場合、底面に隙間ができないように
管体側部からモルタルを充填して下さい。

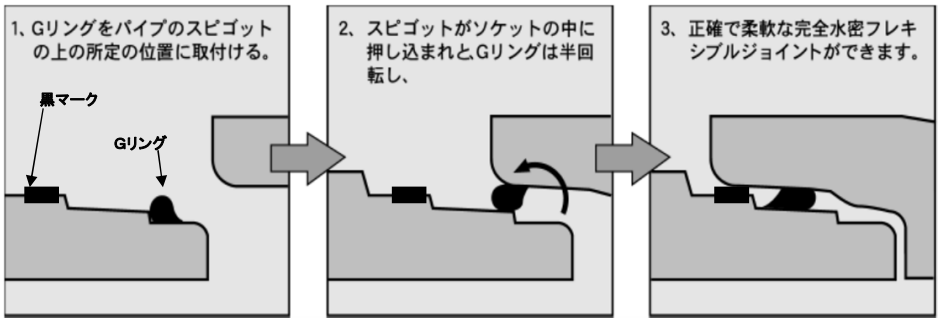
○ 芯出し及び高さ決め

芯出し及び高さ決めについては内面を基準にしてください。



○ **Gリングの設置**

Gリングは下図のように取付けてください。



注意

・滑剤は絶対使用しないでください。
Gリングが回転せず、漏水の原因になります。

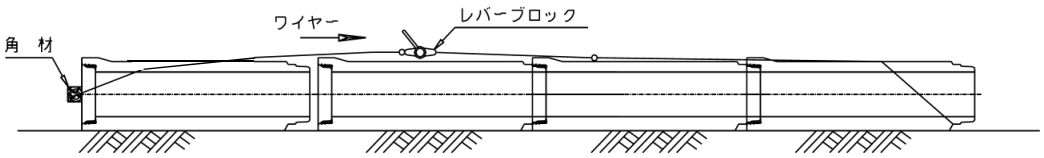
○ **接合方法**

引き込む管は、吊りおろしワイヤーをきかせた状態で、下図の様に受口の管軸に角材で養生し
ワイヤーをかけて下さい。

Φ150～Φ200の場合

下図の様に上部１点絞りで引き込みます。

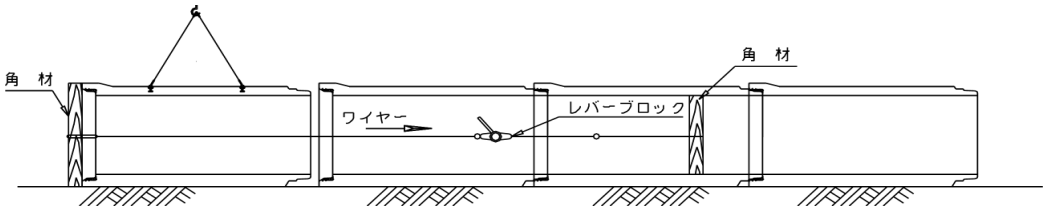
レバーブロックは、1.0ｔｏｎ以上、をご使用下さい。
ワイヤーロープは、9mm以上をご使用ください。



Φ1100～Φ1200の場合（デーハー吊り具４ｔ用をご使用ください）

下図の様に中央１点絞りで引き込みます。

レバーブロックは、6.0ｔｏｎ以上
ワイヤーロープは、16mm以上をご使用ください。



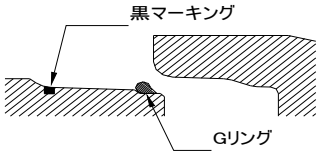
注意

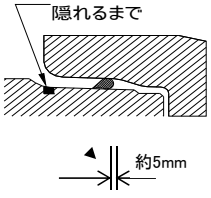
・接合時のはさまれにご注意ください。

・吊具、レバーブロックは表記のものをご使用ください。
接合不足となり漏水の原因となります。

○ **差込位置**

スピゴットに記された黒マーキングが隠れるまで差し込んでください。





注意

・接合後の外力による偏芯にご注意ください。
漏水の原因になります。

・台付管は外圧管です。サイフォンなど内圧が作用する管路には使用しないでください。

・黒マーキングが隠れるまで差し込んでください。
漏水の原因になります。